

【2017年9月 大阪府在住 H様】

（旅のコメント）

（ノーマ）ノノいきなりですが…レディースルーム良いですねえ…。  
桜島観光と御朱印収集をメインにした現地1泊2日の女子一人旅（公共機関利用）の記録です。  
かなり弾丸ですが、桜島&鹿児島市内観光の参考になれば幸いです。

（フェリーさんふらわあの旅1日目）

パワーアップをめざし、まずはさんふらわあ大阪南港のターミナルへ！

待ちかまえていたのは、さんふらわあさつまと、顔出しパネル☆

今回のレディースルームは、

（ノーマ）普段貧乏旅行をしているせいか、

①鍵がかかる（貴重品、治安ともに安全！）

②窓がある（広大な海を見ているとストレス値が下がります）

③アメニティが充実（ナノケア！混雑を気にせずお部屋ドライヤー。最高です！）と至れり尽くせり。

旅行先で髪が決まらないと朝から気分が暗くなるもの。

でもドライヤーは重いしかさばる。流石レディースルーム、良く分かっていらっしゃる！！

某美肌スチーマーで毛先ケアをしている間に睡魔が… あれ？美肌はどうした。

こんな感じで、さんふらわあのレディースルームを満喫しながら就寝。。



船に泊まろう。





(フェリーさんふらわあの旅2日目)

とにもかくにもプライベートを守りつつ、鹿児島島の志布志港に体調も髪も万全の状態で上陸！！  
港の前に停まっている、さんふらわあライナーで一路鹿児島市内へ。

鹿児島中央駅で下車、2日乗車券CUTEを駅の観光案内所で購入して準備完了！

いざ、路面電車でGO！！

まずは昼食！と初めての市電にワクワクしながら天文館にて下車、  
黒豚しゃぶしゃぶ発祥のお店、あちもり（市電「天文館駅」下車、徒歩5分）さんへ。

ランチ営業開始5分前に入店、

時間と同時におかみさんたちが一列に並び「いらっしやいませ！」のご挨拶。

なんというおもてなし精神…元祖しゃぶしゃぶの他にも黒豚ランチがお手頃価格で賞味できます。

「さつま十二単衣チーズランチセット（980円）」を注文。



お腹も満たされたので、さっそく照國神社（てるくにじんじゃ）へ。

ここ（市電「天文館駅」下車、徒歩10分）は、  
薩摩藩第11代藩主の島津斉彬公（照国大明神）をお祀りする神社で、  
周辺には島津家代々の立像があります。

参拝の方が次々お参りにみえられますが、とても綺麗に管理されており、  
すがすがしい雰囲気です。参拝客が多すぎると神様も疲れてしまうのか、  
空気が重くなったりするのですが、とても清涼な気に満ちていました。  
早速御朱印を頂きます。

途中郷土の英雄・西郷隆盛銅像を見てから、フェリー桟橋へ向かいます。  
ちなみにこの西郷隆盛像の左手には、  
西郷隆盛の子孫が営む「西郷隆盛銅像展望ホール K10カフェ」があり、  
5階と言う立地を生かして西郷隆盛銅像と2ショットが撮れるらしいです。  
興味のある方は是非。



(写真：鹿児島中央駅前『若き薩摩の群像』)



船に泊まろう。







フェリーさんふらわあ

いざ「桜島」へ！ 市電「水族館口」下車、徒歩5分でフェリーターミナルへ。  
念願の桜島へ！フェリー内より進行方向に青空をバックに桜島が！

あれ？もしかして噴火中？！窓越しですがばかり。

以降、市内でも気づくと桜島を探してしまう立派な桜島ストーカーの誕生です。

ものすごい求心力です。桜島、すごい。

活火山ですので良質な「火」の気が次々溢れている感じ…。

勿論周囲が海ですので、水、風と力が湧きあがるスポットですね。

15分程で桜島へ到着！ターミナルまでの間に、今回の旅に導いて下さった月讀神社の鳥居が見えます。

目的地を探していると、ふと行かなければいけないような、呼ばれているような気がする、  
これが今回の月讀神社でした。

気になるスポットは「呼ばれている」と解釈します。…ほら行きたくなりませんか？  
わくわくしながら月讀神社へ…と行きたいのですが、バスの時間上、  
先に市営バスで黒神埋没鳥居へ向かいます。

桜島港13：24発のバスにて黒神中学校前下車。  
御朱印を頂きに、日本中を飛び回っておりますが、初めて鳥居を見下ろすという経験をしました。

噴火のすさまじさと、本殿の参拝ノートが火山灰でざらざらしているのがとても印象的でした。

綺麗な中学校の中にひっそりと大噴火の痕跡が残る。

静かな静かな犯しがたい空気の中、埋没鳥居を後にします。



船に泊まろう。

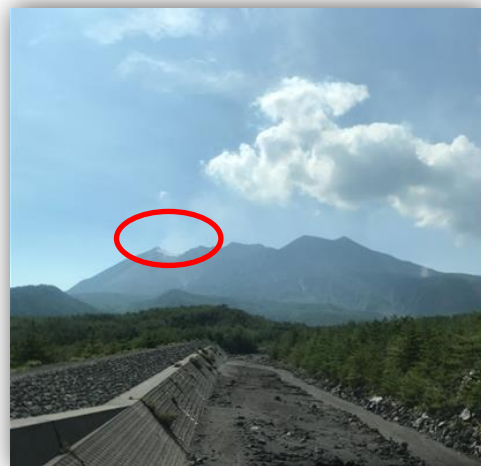




## フェリーさんふらわあ

さて、続いては、「昭和火口」へ！  
市営バス黒神中学校よりすぐ、黒神中学校と小学校の間に昭和火口があります。  
埋没鳥居へ向かう車中で火口確認、帰りに撮影チャレンジ。何とか撮れた～！

昭和火口は活発な火山口で、殆どの噴火はこちらの火山口からとの事。  
夜間、水蒸気ではなくマグマを伴う噴火の時は、火山口が赤く見えるそうです。  
是非見たかったのですが、公共機関利用の一人旅なので時間が合わず諦めました…。残念。  
夜間噴火の写真展示を含む桜島の詳しい説明は、  
サクラジマイランドビュー下車の「ビジターセンター」で一通り学べるそうです。  
ちなみに後述のお兄さんー押しスポットはこの「ビジターセンター」でした。  
とても時間が足りなさそうなので、今回はパスしましたが勿体なかったかなあ。



さて、お目当ての月讀命様！月讀神社へ参拝。  
と思ったら、宮司さんが不在、、、明日の出直しとなりました。

お次は、「鳥島展望所」へ！サクラジマアイランドビュー「鳥島展望所」下車  
ここ桜島観光の要、「サクラジマアイランドビュー」はどの時間帯でも混雑しているようです。便利ですもんね。  
待ち時間に案内のお兄さんに見どころを聞いた所、にこにこと桜島の見どころを教えてくださいました。  
やっぱり情報は生の声に限る！  
さて、情報も収集したところで、桜島港15：30発の「サクラジマアイランドビュー」に乗車、  
桜島一周コースに出発です。



まずは「鳥島展望所」（お兄さん曰く、大したことない…あ、言っちゃった）  
初めて訪れる桜島の展望所なので、皆さん口ぐちに歓声が飛び出します。

お次は、長淵剛さんのコンサートが開かれた「赤水展望広場」へ。  
皆さん海よりも山！モニュメントよりも噴火直後の桜島撮影に必死です。  
さらに「湯之平展望所」へも訪問。こちらは、お兄さんが紹介してくれた大絶賛のポイント！  
桜島で最も高い位置に位置する、一般人が入山できる最高峰になります。

石碑前には自称「写真部で腕を鍛えた」と言うおじさんが、  
皆様のシャッターを立て続けに切っているらしいです。  
元気が良くて微笑ましかつたので、写真嫌いの私も1枚お願いしてみました！

船に泊まろう。







## フェリーさんふらわあ

(フェリーさんふらわあの旅3日目)

ぼんやり起床。おはようございます。

ふと外が明るいのに気付いて窓を開けてみると、窓から朝日と桜島！朝から桜島のパワー頂きました！目が覚めるなー、これ。

そういえば、鹿児島市内の中心部に朝日通と言う大通があるのですが、こちら、真っ直ぐ桜島から朝日が上ってくる事から命名されたとのこと。と、昨晚のバスガイドさんの言葉を思いだしつつ写真をばちり。その朝日通の1本横ですが、素晴らしい朝日！今日も元気に鹿児島観光開始！

まずは昨日も訪れた城山公園へ！

昨晚真っ暗で衝撃を受けたので、9:00鹿児島中央駅発のカゴシマシティビュー始発便で再訪。

…おや？想像と何か違う…

カゴシマシティビューはガイドさんがいないので、ボランティアガイドさんに突撃。

「午前中は逆光なので、桜島はシルエットしか見えないんですよ」

(； 旦 ) なんだとー！！いや、綺麗なのは綺麗ですが。

つまり、午前中：シルエット、午後：はっきり、夜景：真っ暗。(※ここテストにでるよ！)

ある意味、全ての桜島を初訪問にて写真に収めたという意味では、ストーカー作戦大成功と言えるでしょう。



ビューで南洲公園入口下車で「南洲公園」へ！。

ここでは日曜日の朝のみ「薬丸 野太刀自頭流」のノボリの元、

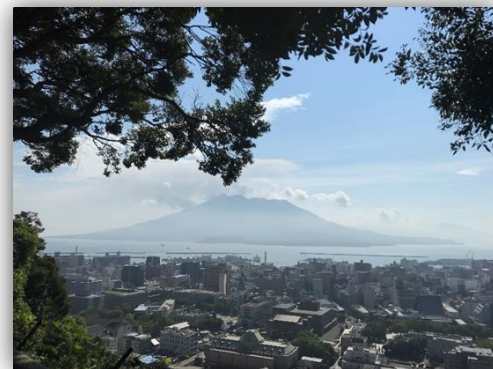
あの「チェストー！」の剣術稽古を公開中！

実際は猿叫と呼ばれる気合いとの事で、チェスト！とは叫んでおりませんが、ます。

これをどうしても生で見たかった！

先生と思しき方に撮影と見学許可を頂くと、どんどん撮って下さい！とのお返事。しばらく見学させて頂きました。

チビッコさんも多く、薩摩隼人の剣術が受け継がれている事、それが目の前でされている事に感動しました。



船に泊まろう。





フェリーさんふらわあ

隣接の南洲神社は西郷隆盛がご祭神で、「敬天愛人」の文字が掲げられております。  
御朱印を頂きつつ、西郷隆盛をはじめとする幕末の志士たちゆかりの地で、連綿と続く稽古の声を聞く。素晴らしい経験となりました。

さて、どうしても今回の旅で参加したかった「桜島よりみちクルーズ」へ！  
南洲公園より仙巖園を泣く泣く通過し、水族館前（フェリーターミナル）へ移動。

11：05発、12：00桜島着の1日1便限定ロングクルーズで、乗船料は500円！

さんふらわあ弾丸ツアーだとタッチの差でよりみちクルーズ間に合わないんですよ…  
勿体ないところ。

鹿児島港より神瀬灯標、沖小島、赤水展望広場、大正溶岩原を経て桜島港へ。  
最短ルート15分の所を、桜島の南側を1時間弱かけてゆっくりクルーズします。

錦江湾に流れ込んだ溶岩は大正溶岩原を形成、そこに松が自生し、  
人の手を一切加えない樹海へと100年の時をかけて成長するとの事（船内ボランティアガイドさんのお話）  
よく見ると松も年代ごとに層が違います。自然って凄い。

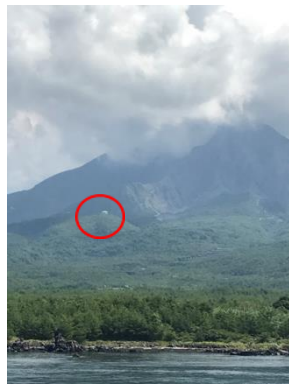
その奥には昨日登った湯之平展望所が見え、頂上まで倍以上の距離を要することにもびっくり。

タイミングが良ければイルカも見れるそうですが、今回のクルーズでは見れませんでした。

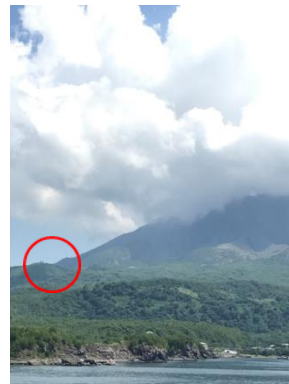
15分での桜島到着も良いですが、のんびり館内アナウンスとボランティアガイドさんの説明を聞きつつ、

陸上から見るのとは違う桜島裾野の広さを体感するのも良い経験です。

桜島よりみちクルーズ、1日1便は本当に勿体ないなあ。是非体験あれ！



赤丸が最高到達地点の  
湯之平展望所は北岳の  
4合目になります。



船に泊まろう。







## フェリーさんふらわあ

さて最終日タイムアップ直前に「月讀神社」へ再訪。  
本殿参拝前にちらり… 昨日はご不在だった神主様、御在宅！！  
旅の安全を再度祈念して、御朱印を頂きます。 月讀命様のご加護ゲットです！  
お！社印が丸い！また遠慮もなく伺ってみます。  
丸いのは珍しいですね。→お月さまにちなんでますので、とのこと。  
おお…可愛らしい。ちなみにお伊勢さんの月讀宮は角印です。いろいろあって、みんないい。



さて、帰路の途中、桜島フェリーに乗るとすぐ気付く、香しいお出汁のにおい…。  
それもそのはず、桜島フェリー全船内で営業しているうどん・そば屋さんになります。  
15分の間で食べきるの？！と地元の方が持参おにぎりと共に食べているのをチラチラ見つつ、緻密に計算を…。  
初日はゆっくり景色が見たい。  
ゆっくり食べられるのはよりみちクルーズだけど、ガイドアナウンス聞きたいし、デッキにいたい。  
結果、最後の再度、鹿児島に戻る便に先頭を切って乗車！  
やぶ金横の椅子を確保してようやく噂のおうどんを！



すぐ出て来た！お出汁が美味しい！うどんはゆでうどんかな？コシはない柔らかめのおうどん。  
海を見ながらだと更に美味しく感じますね。ごちそうさまでした！

「（いおワールドかごしま水族館横）イルカ水路」 フェリー乗り場から水族館への道中  
＼(\*・▽・\*)ノ 鹿児島港に帰還！

目と鼻の先にあるかごしま水族館に道沿いにある水路で、  
訓練中のイルカショーが1日3回、無料で見られるとのこと。（HPより）  
時間外だしなーと思いつつ覗いてみると人がいる。  
もしや！とイルカ水路に向かうと2頭元気に泳いでます！！おお！近い！  
トレーナーさんがいないのに、自主的にボール遊びやジャンプをしています。  
可愛い～！と見てみると、奇跡の写真が…！！



繰り返しますが、トレーナーさんはいません。2頭の動きもバラバラです。  
それなのにこの奇跡のショット！

最後の最後で素晴らしいお土産を頂きました！イルカさん、ありがとう！  
と言うか、このイルカを見ているだけでもかなり満足してしまうんですが…かごしま水族館さん、太っ腹！  
。。。((T\_T) ここで観光はタイムアップ。  
屋久島・種子島行きのフェリーターミナルがある南埠頭へ向かいます。



船に泊まろう。





フェリーさんふらわあ

屋久島・種子島行きのフェリーターミナルがある南埠頭へ向かいます。  
この2島もいずれは行ってみたいですね…種子島はロケット打ち上げを死ぬまでには見てみたい。  
こちらで志布志港行きのさんふらわあライナーに乗り、うたた寝をして起きると志布志港です。  
とにかく晴天に恵まれ、海が終始穏やかだった事もあり、快適な船旅でした。

船内2泊、現地1泊の内容詰め込みまくりの初鹿児島・桜島一人女子旅でしたが、本当に楽しかったです！  
鹿児島ラーメンが食べられなかった事が心残りですので、また再訪したいと思います。r(・ロ・)~  
みんなと行く旅行も楽しいけど、一人は一人の良さがあるのも事実。  
ここに行きたいな、と思い立ったが吉日。思い立った場所があなたを呼んでるよ！  
女子一人でも大丈夫！旅に出よう！  
この度は素敵な好機を頂き、ありがとうございました！（^▽^\*）ノ



(写真:のどごろ初めて食べました)

## ☆今回の工程☆

1日目 さんふらわあ乗船 船旅満喫☆

2日目 さんふらわあライナーで鹿児島市内 路面電車などで市内観光&桜島訪問 鹿児島市内泊

3日目 鹿児島市内観光 桜島再訪問

4日目 大阪港到着。



(写真:御祭神・西郷隆盛「敬天愛人」  
が掲げられています)



(写真:月讀神社神額)



☆今回の行程でおすすめ「船に泊まろう 徒歩プラン」。片道最安値7,900円～楽しめる船旅です。

船に泊まろう。

